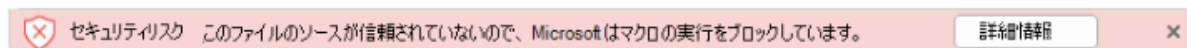


## ■ 「Microsoft の マクロの実行をブロック」 を解除する

Microsoft社にて、セキュリティ強化のため、インターネットや電子メールで入手したドキュメントに対して、デフォルト（既定）でマクロをブロックする仕様への変更が行われています。（以前からアナウンスはありましたが、2022年9月から展開が進んでいるようです）

■ 警告は、ファイルの起動時に赤い警告バーで表示され、マクロは使用できなくなっています。



この警告は、ファイルのプロパティの設定で解除が可能です。

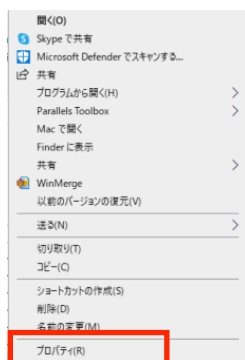
■ プロパティの設定で警告を解除する手順

① Windows のエクスプローラで ファイルの保存先を開く



② ファイル「\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*(Aint)」を右クリックする

③ 表示されるメニューの「**プロパティ**」をクリック（左クリック）する



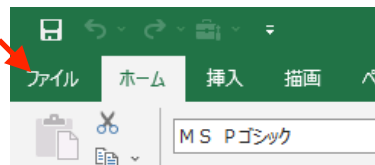
- ④ プロパティの「全般」タブを選択し、下部のセキュリティの「許可する」のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」を選択



## ■マクロ用に「信頼できる場所」を登録する

マクロの設定の「すべてのマクロを有効にする」の設定に不安がある場合は  
トラストセンターで「信頼できる場所」を登録してください

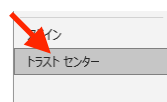
- ①画面左上の「ファイル」タブをクリック



- ②画面左下の「オプション」をクリック



- ③ポップアップ画面の「トラストセンター」をクリック



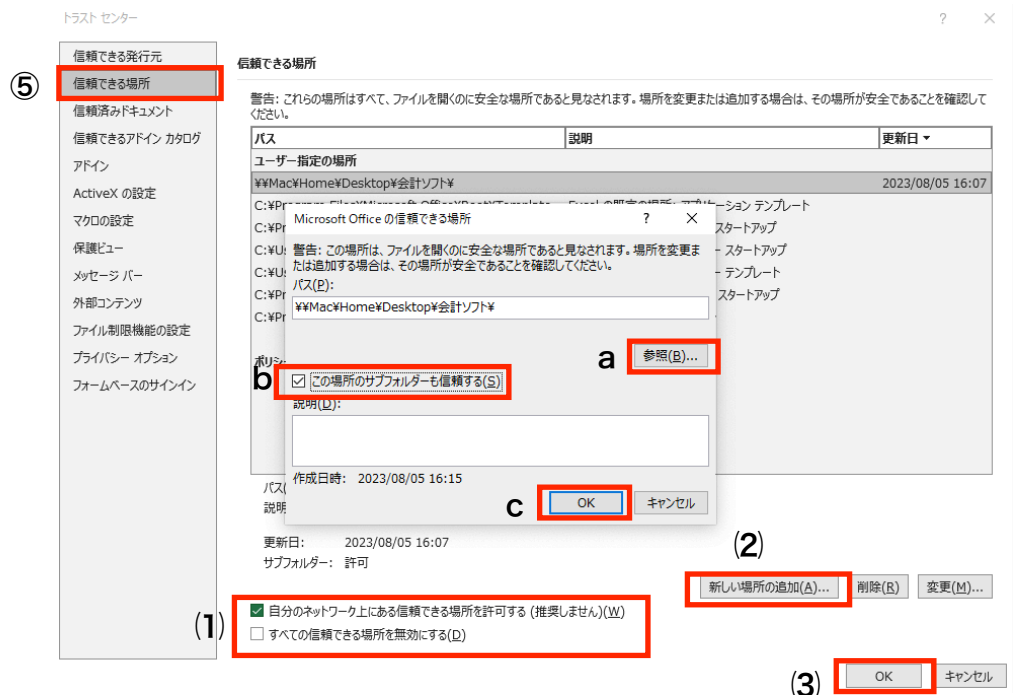
④ポップアップ画面の右中央の「トラスト センターの設定」をクリック

Microsoft Excel トラスト センター

トラスト センターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。

トラスト センターの設定(I)...

⑤ポップアップ画面の左上の「信頼できる場所」をクリック



- (1) 「自分のネットワーク上にある信頼できる場所を許可する」をチェックする  
「すべての信頼できる場所を無効にする」のチェックを外す

- (2) 「新しい場所の追加」をクリックする

信頼できる場所の設定ポップアップが表示される

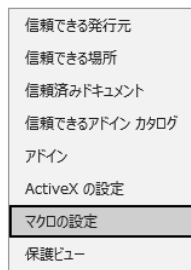
- a. 「参照」をクリックし「会計ソフト」のフォルダを選択する  
b. 「この場所のサブホルダーも信頼する」にチェックを入れる  
c. 「OK」をクリック  
→ポップアップが閉じる

- (3) 「信頼できる場所」の設定の「OK」をクリック

⑦「トラストセンター」の「マクロの設定」を変更する

マクロの設定は「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選択する

トラスト センター



マクロの設定

- ☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(D)  
☒ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(W)  
☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)  
☐ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定

- ☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

■ 以上の設定で「信頼できる場所」のマクロのみが動作可能になり  
セキュリティが強化されます